第 14 回　全日本学生ドイツ語弁論大会
実施要項

記

- 日　　時：**2013 年（平成 25 年）12 月 7 日（土）**　午後 1 時 00 分より
- 場　　所：京都外国語大学　171 教室
- 主　　催：京都外国語大学
- 後　　援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、オーストリア大使館、ゲーテ・インスティトゥート大阪、DAAD（ドイツ学術交流会）、京都日独協会、在日ドイツ商工会議所、毎日新聞社
- 協　　賛：ルフトハンザ　ドイツ航空、㈱郁文堂、㈱三修社、㈱同学社、㈱朝日出版社、マンハイム大学、ドレースデン工科大学、チューリヒ大学、ザルツブルク大学
- 出場資格：大学・短期大学在籍者（大学院生を除く）で、原則として以下のいずれかに該当しない者。
  1）ドイツ語を母語とする者
  2）ドイツ語で授業を行う教育機関（小、中、高等学校）に 1 年以上通った者、もしくはドイツ語圏での在住が通算で 1 年を越える者
  ※最終的に、主催者が判断を行う。
- 演　　題：自由（但し、本人によって作成された未発表のものに限る）
- 制限時間：５分間
- 申込締切：**2013 年 10 月 19 日（土）午後 5 時**（電子メール必着）
  下の内容を全て記し、doitsu-benron@kufs.ac.jp 宛にお申し込みください。
  ＊氏名（漢字とローマ字）、年齢、性別、住所、緊急連絡先（携帯電話、メールアドレス）、所属大学名・学部・学科・学年、演題（日本語とドイツ語）を明記し、弁論要旨（日本語 1,000 字以内＜後日、プログラムの作成時に使用する＞）を提出すること。（メール文に直接記載、Word 文書等の添付いずれも可）
  ※応募者が多数の場合は、ドイツ語の原稿審査（11 月中旬頃）により出場者の人数を一校あたり上限 3 名とする。
- 選考方法：演説の内容、表現力、発音、暗記力（大会当日はプロンプターをつけるが、暗記を前提とする）等により、弁論の結果を総合して入賞者を決定する。なお、弁論直後に、二次審査として審査員との簡単な質疑応答を行う。
- 審査員（予定）：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館（1 名）、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川（1 名）、ゲーテ・インスティトゥート大阪（1 名）、DAAD（ドイツ学術交流会）（1 名）
- 賞　　品：ヨーロッパ往復航空券（協力: ルフトハンザ　ドイツ航空）、語学研修（ゲーテ・インスティトゥート）、図書カードなど
- 交 通 費：近畿地方 2 府 4 県（大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県）を除く遠方からの出場者には、現金（上限 3 万円）で支給される。ただし、交通機関の領収書（チケットのコピー可）が確認できない場合は、如何なる理由であろうと支給は行わない。

――――お申し込み／お問い合わせ先――――

〒615 - 8558　京都市右京区西院笠目町 6
京都外国語大学ドイツ語学科
E-mail: **doitsu-benron@kufs.ac.jp**
TEL: (075) 322 - 6157・6155　（大会実行委員：菅野・筒井）

ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ

GOETHE INSTITUT